

「通院等のための乗車又は降車の介助が中心である場合」の算定について

※「通院等」には入院と退院も含まれます。

介護タクシーを利用する場合、次の費用がかかります。

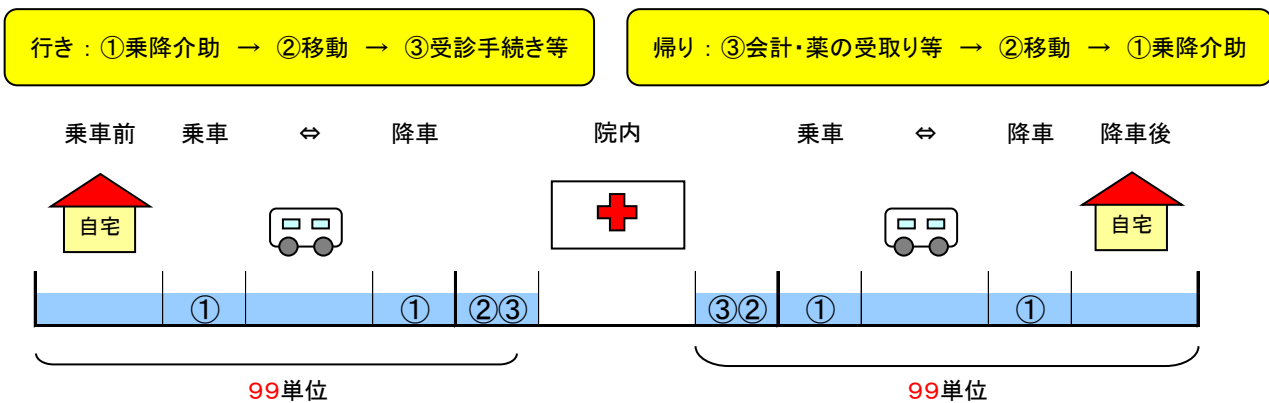
- ・乗降介助にかかる費用 …… 介護サービス費
- ・移送行為にかかる費用 …… 運賃（介護保険適用外）

※以下では、「乗降介助(99単位)」について説明します。

乗降介助を算定する場合は、同時に「身体介護」は算定できません。
乗降介助は、片道ごとに算定します。（往復の場合、99単位×2回）

乗降介助の内容は、次の①～③を一連の行為として含むものとします。

- ①ヘルパー自らが運転する車両への乗降介助
- ②乗車・降車前後の移動等の介助
- ③通院先での受診・会計等の手続き（薬の受け取りも含む。）



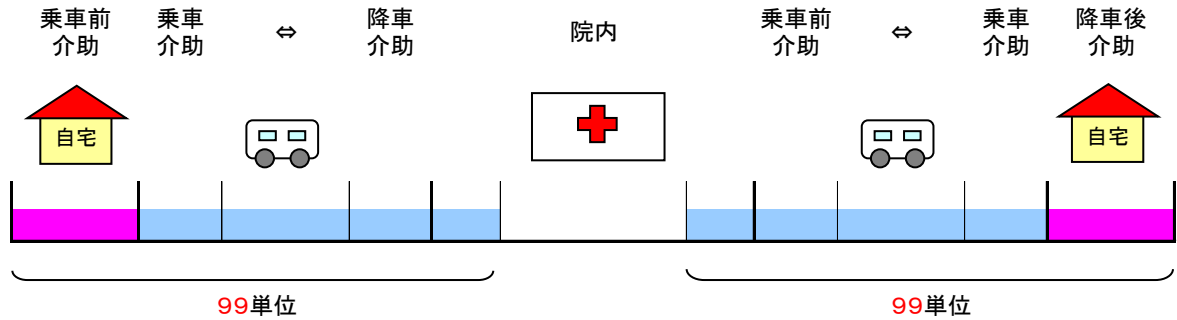
●乗降介助は①だけでなく、②または③の行為を併せて行うことが必要です。
また、これらの行為は、見守りだけではなく具体的に介助する行為を要します。

●①～③は一連の行為なので、それぞれの行為によって細かく区分して算定することはできません。
（①のみ「99単位」を算定し、②③を「身体介護」で算定することはできません。）

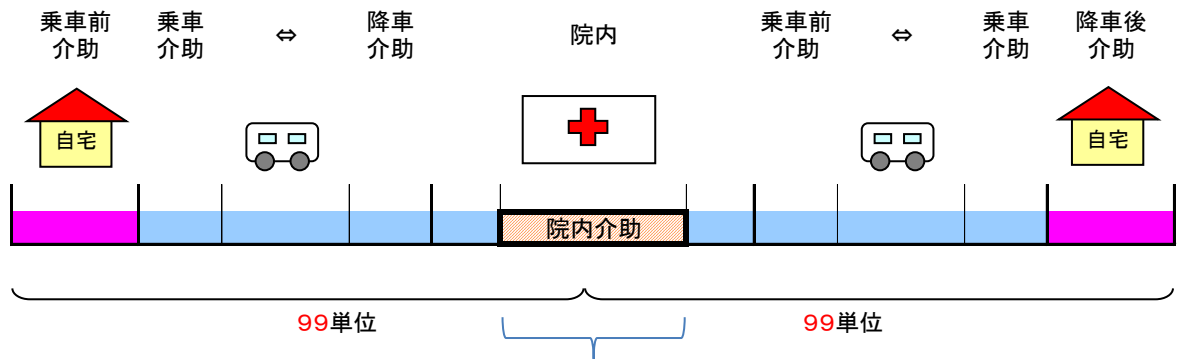
●一連の行為の途中で、複数のヘルパーが交替して介助を行った場合も、ヘルパーごとに単位を分けて算定することはできません。
（ヘルパー2人分の単位を算定することはできません。）

「通院等のための乗車又は降車の介助が中心である場合」及び 「身体介護が中心である場合」の適用関係

①要介護1～5 行き+帰りの乗降介助を行う場合

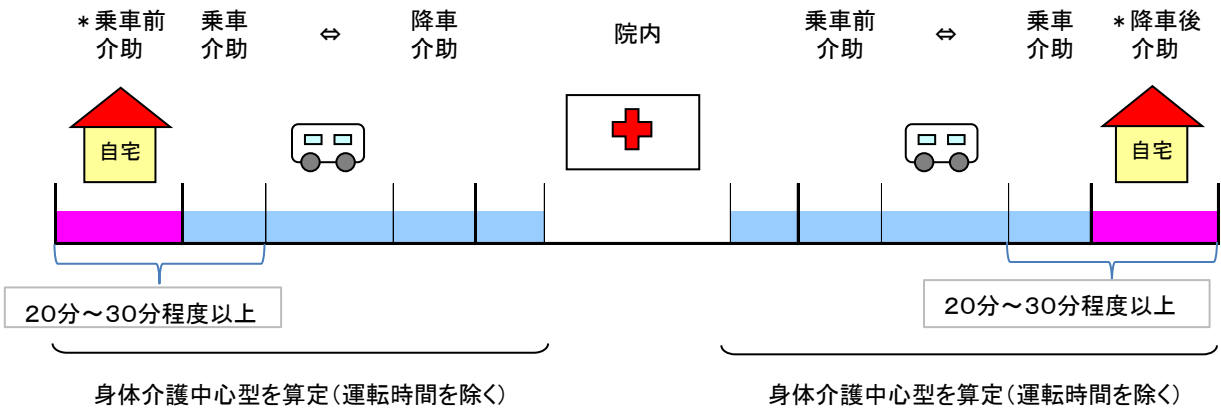


②要介護1～5 行き+帰りの乗降介助及び院内介助を行う場合



※「通院等のための乗車
又は降車の介助」
として包括して評価

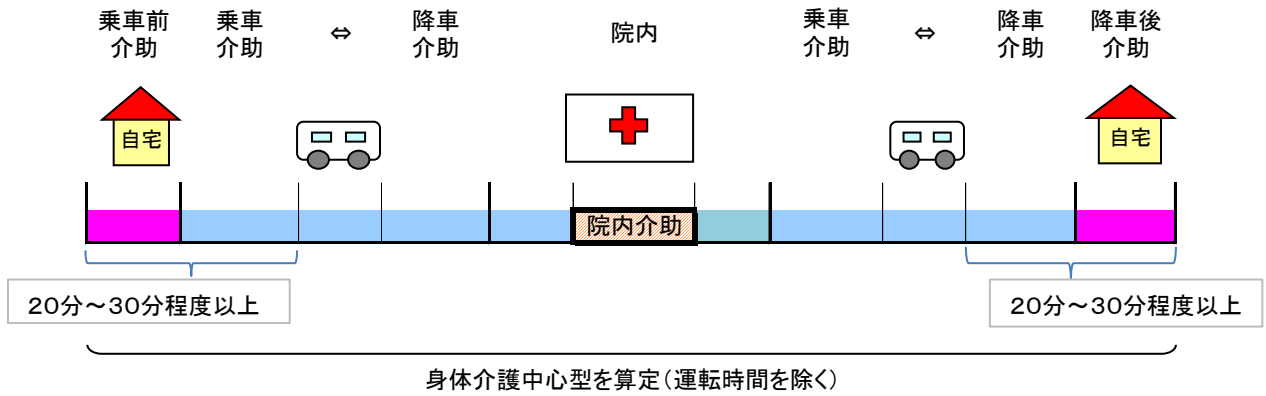
③要介護4・5 通院等のための乗車・降車の介助を行うことの前後に連続して相当の所要時間(20分～30分程度以上)を要し、かつ、手間のかかる身体介護を行う場合



*「乗車前介助」及び「降車後介助」とは、乗車・降車の介助を行うことの前後に連続して行われる外出に直接関連する身体介護をいう。

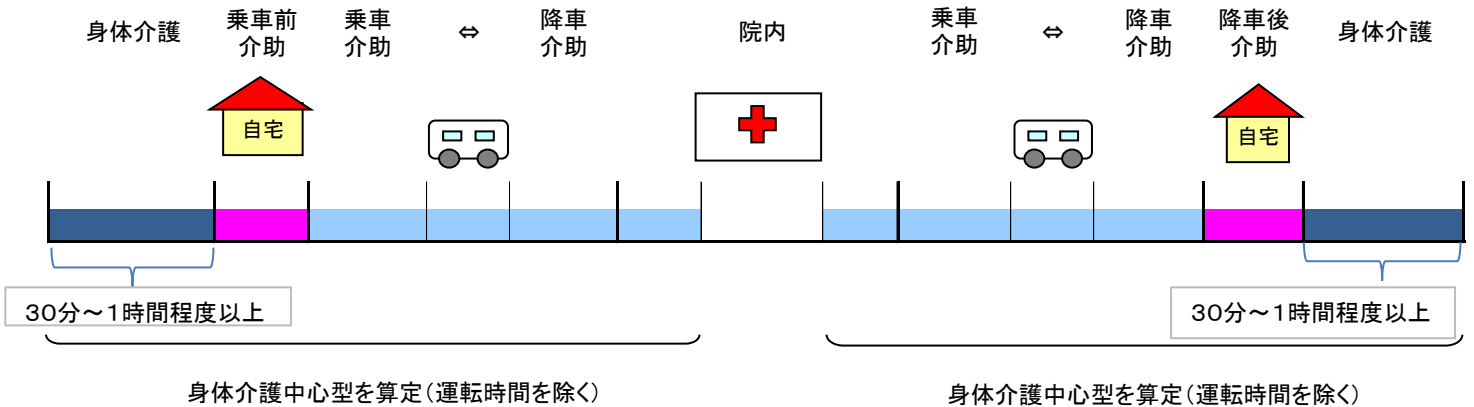
④要介護4・5

③のパターンにおいて院内介助を行う場合



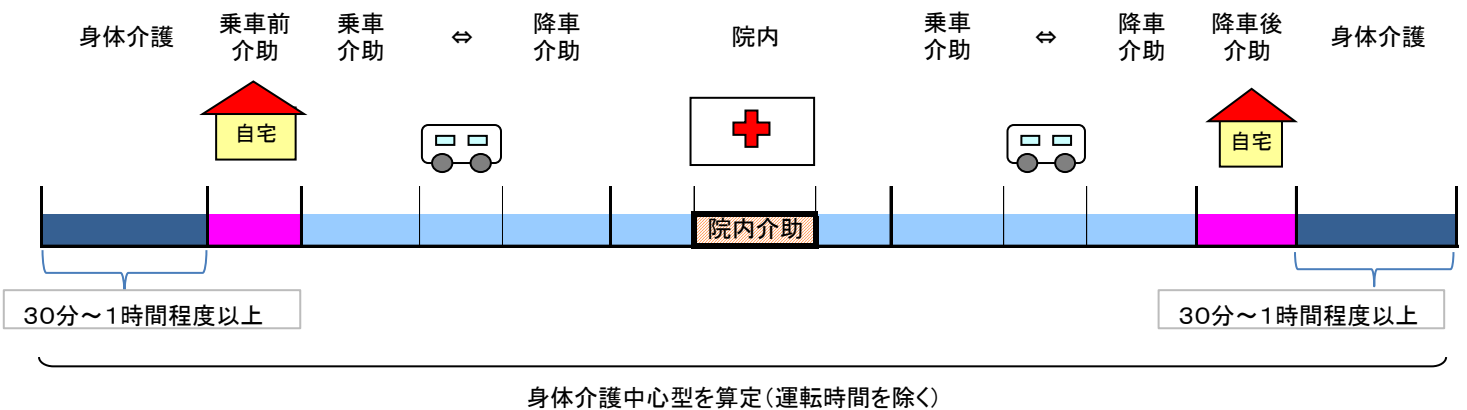
⑤要介護1~5

居宅における外出に直接関連しない身体介護(食事介助、入浴介助等)に30分~1時間程度以上を要し、かつ、当該身体介護が中心である場合



⑥要介護1~5

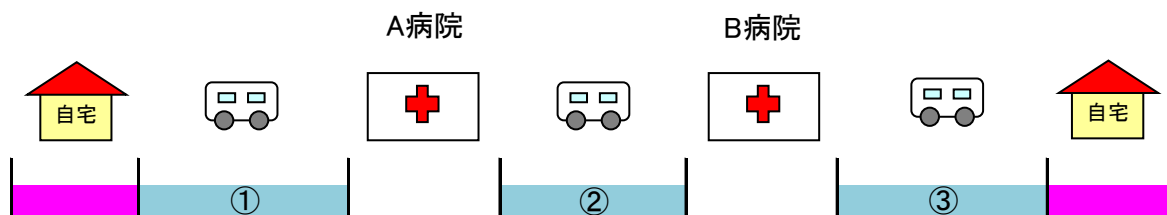
⑤のパターンにおいて院内介助を行う場合



「目的地が複数あって居宅が始点又は終点となる場合」の算定について

①要介護1～5

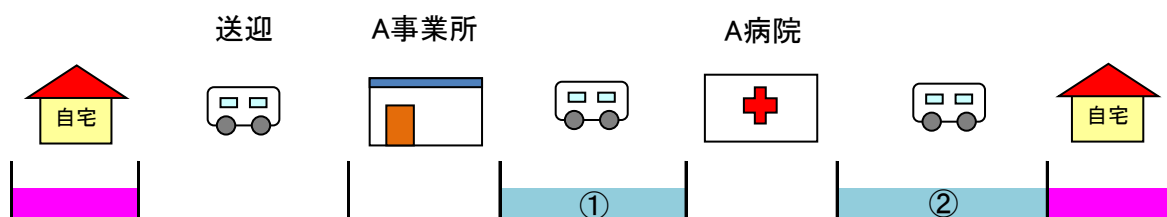
病院から病院への移送を行う場合



①又は③の算定がある場合のみ、②の算定が可能

②要介護1～5

通所系・短期入所系サービス事業所から病院へ移送を行う場合



②の算定がある場合のみ、①の算定が可能

※A事業所は帰りの送迎を行わないため、デイの場合は減算、短期入所の場合は加算しない

「入院または退院の場合」の算定について

⑨要介護1～5

入院又は退院の際の乗降介助を行う場合

